

2016年7月1日

四国アイランドリーグplus

事務局長 坂口裕昭

北米遠征Can-Amリーグ公式戦・第19戦

最終戦勝利で飾る！ 通算成績8勝11敗

カナダ現地時間6月30日(木)19時5分(日本時間7月1日(金)8時5分)より、四国アイランドリーグplus ALL STARS (IL選抜)のCan-Amリーグ公式戦・第19戦が、オタワ・チャンピオンズと行われました。

キャンナムリーグ最終戦、そしてオタワ・チャンピオンズとの勝ち越しがかかった大事な試合、四国 IL plus ALL STARSが先制します。

初回、先頭の四ツ谷がツーベースを放つと、続く林のヒットで、1点を先制。続く2回表には河田がスリーベースを放ち、垂井の犠牲フライで追加点をあげます。

5回表には四ツ谷が四球で塁に出ると、林にツーランホームランが飛び出し2点を追加します。

投手陣は、先発の松本が2回裏にヒットとツーベースで1点を取られたものの、その後5回まで投げ切り、ゲームを作ります。

6回裏からは四戸がマウンドに上がりますが、2四死球で1塁2塁としたところでフィリップスにマウンドを譲ります。勝利に向けて踏ん張りたい所ですが、この後2本のタイムリーと犠牲フライでこの回3点を取られ、4-4と振り出しに戻ります。

7回裏からは木下がマウンドへ上がり、この回3人で抑えますが、8回裏にヒットと四球で1塁2塁とすると、4番にタイムリーヒットを打たれて5-4と勝ち越しを許します。

後がない9回表の攻撃、ヒットで出塁した小林を、大城が1球で送りバントを決めて2塁にすると、古川敬のタイムリーヒットで5-5の同点。外野からの送球間に古川敬は2塁へ進みます。続く垂井がショートゴロがエラーを誘って1塁3塁とすると、平間のレフト前ヒットで、古川敬がホームへ生還。土壇場で勝ち越します。

9回裏からは平良がマウンドへ上がり、ピシヤリと3人で抑えて最終戦を勝利で飾りました。

通算成績は8勝11敗とし、キャンナムリーグ公式戦の全日程を終えました。

試合結果は以下のとおりです。

【オタワ・チャンピオンズ 対 四国アイランドリーグplus ALL STARS】

6月30日(木) レイモンド・シャポー・グラント・ソートン・パーク 試合開始19:05 ※日本時間7月1日(金)8:05am 3125人												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
四国アイランドリーグplus ALL STARS	1	1	0	0	2	0	0	0	2	6	11	1
オタワ・チャンピオンズ	0	1	0	0	0	3	0	1	0	5	12	1

勝:木下 S:平良 負:Wilson

<継投>

ILplus選抜

投:松本-四戸-フィリップス-木下-平良

捕:垂井-古川大-鶴田

オタワ・チャンピオンズ

投:Galbraith-Perez-Wilson

捕:Grauer

本塁打:林(IL)

三塁打:河田(IL)

二塁打:四ツ谷(IL)、Boucher 2(OC)、Grauer(OC)、Bick(OC)、

【中島輝士監督のコメント】

最後の集大成でこういうゲームができたことは、僕自身うれしいですし、選手をほめてあげたいと思います。最後まであきらめない。なんとかしよう！ という気持ちがチーム全員にあったので、勝ち切ることができた。公式戦最終戦で、こういう形で終わったのは「○」ですよ。あっぱれですよ。キューバ戦は小刻みな投手リレーを考えてます。みんなにそういう雰囲気味わってほしい。そのなかで、なんとか勝ちに結び付けたいと思います。

【小林選手のコメント】(9回表、先頭打者としてチャンスメイク)

その前の3打席全部、凡打してたんですけど、感じ的には悪くなくて。そんなにズレたような凡打ではなかったし、嫌な感じで打席に入ったわけじゃなかったの。追い込まれても付いて行く意識で行きました。「(ストライクとボールの)見極めをしっかりと」っていうことだけを考えて、とにかく塁に出ることだけ考えていました。

【古川敬選手のコメント】(9回表、貴重な同点打。)

きのうから(試合に)出してもらって、みんなも体に(疲労が)きてるところとかあると思うので。自分が一番チームに貢献できるように全力でやろうと考えてました。自分のなかでは仕事ができただけかなと思ってます。

【林選手のコメント】(5回表、1号2ラン)

きのうぐらいからいい感触で。平間がいいバッティングしてるじゃないですか。2ストライクからでもしぶといバッティングしてるので。きのうの夜「どんなふうになってるんや？」って。それをやってみました。(本塁打は)追い込まれてからでしたけど、それもあってうまく反応できたと思います。

【平良選手のコメント】

公式戦最後の試合で勝ちたいっていうのは、みんな一緒だったと思うので。実際、延長、延長で来て、きょうはマウンドで嫌な感じもしなかったですし、自分自身も「勝って終わりたい」という思いがありました。別に力むこともなく、2ストライク追い込んでから「三振が獲りたいな」と思ったんですけど、早打ちな面もあったので。最終戦投げる機会があるかどうかわからないですけど、もし投げる機会があれば、ホントの北米遠征の集大成でパフォーマンスを発揮できればなと思います。

なお、試合の状況は、随時、四国アイランドリーグplus公式Twitterで、動画、写真をまじえながら配信中です。
https://twitter.com/Shikoku_IL_plus

詳しい試合レポートは下記をご覧ください。

北米遠征レポート: <http://bb-nippon.com/ib/column/1558-2016report>

試合終了数日後にはなりますが、ダイジェスト動画も配信しております。

https://www.youtube.com/channel/UCw5h_EQv-ubTxbsb3CDFnrA

以上